

Vol.52 「子ども手当」の使途

6月から「子ども手当」の給付がスタートします。「子ども手当」とは、次代を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度で、2010年度は子ども1人当たり月額13,000円を中学卒業まで支給することが予定されています。今回は、受給対象の子どもを持つ保護者の方を対象に「子ども手当」への意識や使い道について調査しました。



調査概要

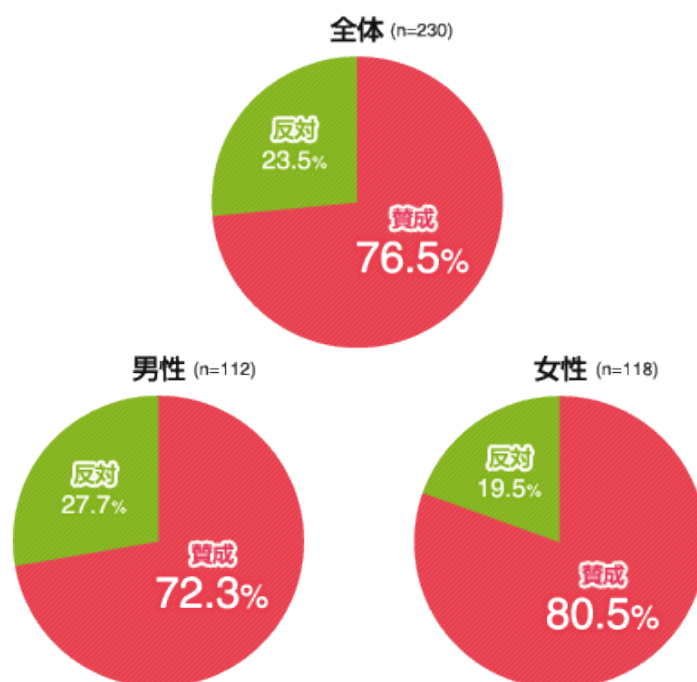
調査対象：全国の中小学生以下の子どもを持つ
保護者203人

調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2010年4月

Q 「子ども手当」の支給評価

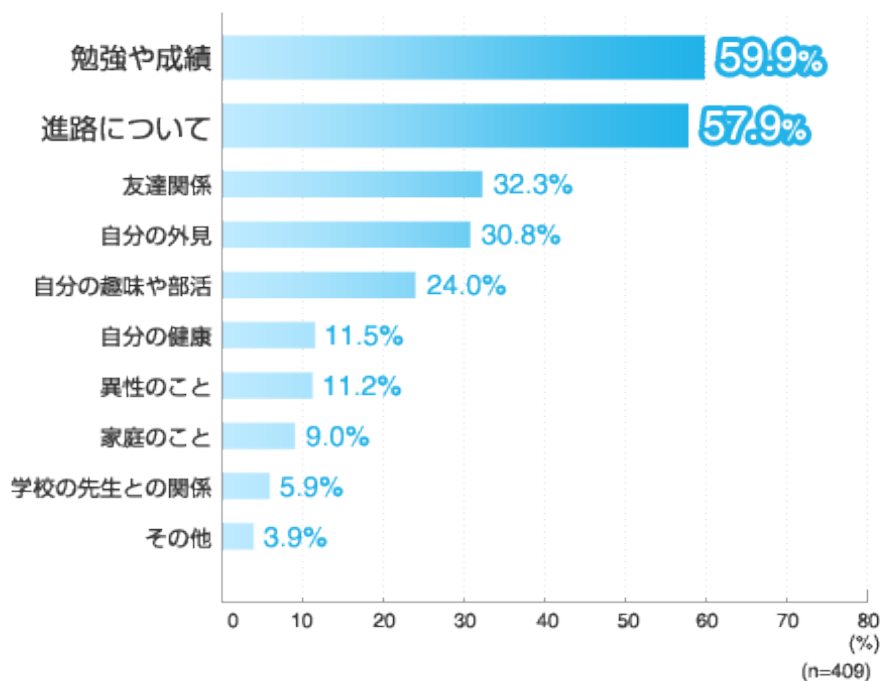
2010年度から実施予定の「子ども手当」の支給に対しては、「賛成」という意見は、男性が72.3%、女性が80.5%と、男性に比べて女性の保護者のほうが賛成する割合が高くなっています。



【図1】「子ども手当」の支給には賛成ですか？（単数回答）

Q 「子ども手当」の使い道

「子ども手当」が支給されたら何に使う予定か尋ねたところ、「子どもの教育費(授業料、給食費など)」が44.3%と最も多くなりました。次いで「貯金」が32.6%、「子どもの学校用品(制服、体操服、シューズなど)」が27.8%、「子どもの学習塾(英語や授業補習など)」が19.6%、「子どもの習い事(ピアノ、書道、絵画など)」16.5%と、学校や教育に係わるものがあげられています。



【図2】「子ども手当」は何に使う予定ですか？（複数回答）

🏠 まとめ

次代を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもとに支給される「子ども手当」について、受給対象の子ども(中学生以下の子ども)を持つ保護者の多くは「賛成」しています。その保護者が考える「子ども手当」の使い道としては、子どもの教育費や貯蓄、身の回り品の購入と多岐に渡っていますが、上位の3位のうち2つに「学校」というキーワードが出ています。

「子ども手当」については、様々な使途が考えられますが、子どもの将来の夢の実現のために役立ててほしいものです。

毎月最終
火曜日
更新

kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://ozaki.jp/homeroom/>